

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年11月21日 (2013.11.21)

【公表番号】特表2013-507237(P2013-507237A)

【公表日】平成25年3月4日 (2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2012-533117(P2012-533117)

【国際特許分類】

B 0 1 J 20/281 (2006.01)

G 0 1 N 30/00 (2006.01)

G 0 1 N 30/06 (2006.01)

G 0 1 N 30/88 (2006.01)

B 0 1 J 20/30 (2006.01)

B 0 1 J 20/34 (2006.01)

B 0 1 J 39/18 (2006.01)

B 0 1 J 49/00 (2006.01)

B 0 1 J 20/24 (2006.01)

C 0 7 K 1/22 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 8 G 81/00 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 J 20/22 D

G 0 1 N 30/00 B

G 0 1 N 30/06 Z

G 0 1 N 30/88 2 0 1 X

B 0 1 J 20/30

B 0 1 J 20/34 G

B 0 1 J 39/18

B 0 1 J 49/00 F

B 0 1 J 20/24 C

C 0 7 K 1/22

C 0 7 K 16/00

C 0 8 G 81/00

G 0 1 N 30/88 J

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月4日 (2013.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ベースマトリックスを含有し、前記ベースマトリックスに疎水性官能基を有する第 1 リガンドが共有結合し、かつ前記ベースマトリックスにエクステンダーが共有結合し、前記エクステンダーが第 2 イオン交換リガンドを有する、分離マトリックス。

【請求項 2】

疎水性官能基を有するリガンドが 1 以上の末端 C<sub>2</sub> ~ C<sub>18</sub>炭化水素鎖のような 1 以上の

$C_2 \sim C_{18}$ 炭化水素鎖又は1以上の末端炭化水素環のような1以上の炭化水素環を有する、請求項1記載の分離マトリックス。

【請求項3】

エクステンダーが、デキストランのようなポリヒドロキシポリマーであって、任意には平均分子量が10000Da超のように1000Da以上のものを含む、請求項1又は請求項2記載の分離マトリックス。

【請求項4】

ベースマトリックスが、多糖類、アガロース又は寒天のような架橋ポリヒドロキシポリマーを含む、請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の分離マトリックス。

【請求項5】

エクステンダーが疎水性リガンドを5マイクロモル/g未満含む、請求項1乃至請求項4のいずれか1項記載の分離マトリックス。

【請求項6】

疎水性官能基を有するリガンドの量が分離マトリックス1ml当たり10～100マイクロモル、例えば分離マトリックス1ml当たり20～70マイクロモルである、請求項1乃至請求項5のいずれか1項記載の分離マトリックス。

【請求項7】

a) 疎水性官能基を有する第1リガンドをベースマトリックスにカップリングする工程と、b) エクステンダーを前記ベースマトリックスにカップリングする工程と、c) 第2イオン交換リガンドを前記エクステンダーにカップリングする工程とを任意の順序で含む、分離マトリックスの製造方法。

【請求項8】

疎水性官能基を有するリガンドをベースマトリックスにカップリングした後にエクステンダーをカップリングする、請求項7記載の方法。

【請求項9】

液体製剤から1種以上の標的生体分子を分離する方法であって、

ベースマトリックスに共有結合した疎水性官能基を有する第1リガンドと第2イオン交換リガンドを有するエクステンダーとを含有する分離マトリックスに液体製剤を接触させる工程を含む方法。

【請求項10】

標的生体分子が、抗体又はモノクローナルIgG抗体のようなタンパク質である、請求項9記載の方法。